



2021年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(非連結)

2020年11月6日

上場会社名 カネソウ株式会社

上場取引所 名

コード番号 5979 URL <http://www.kaneso.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 近藤 健治

問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役

(氏名) 南川 智之

TEL 059-377-4747

四半期報告書提出予定日 2020年11月13日

配当支払開始予定日

2020年12月8日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第2四半期の業績(2020年4月1日～2020年9月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第2四半期	3,086	10.5	73	9.7	56	9.1	31	14.1
2020年3月期第2四半期	3,447	3.6	81	112.0	62	193.8	36	583.0

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第2四半期	21.88	—
2020年3月期第2四半期	25.46	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第2四半期	15,666	13,707	87.5
2020年3月期	15,919	13,782	86.6

(参考) 自己資本 2021年3月期第2四半期 13,707百万円 2020年3月期 13,782百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	75.00	—	75.00	150.00
2021年3月期	—	75.00	—	—	—
2021年3月期(予想)	—	—	—	75.00	150.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年3月期の業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	6,750	11.4	360	36.8	320	39.2	210	40.7	147.50

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

2021年3月期2Q	1,440,000 株	2020年3月期	1,440,000 株
------------	-------------	----------	-------------

期末自己株式数

2021年3月期2Q	16,290 株	2020年3月期	16,290 株
------------	----------	----------	----------

期中平均株式数(四半期累計)

2021年3月期2Q	1,423,710 株	2020年3月期2Q	1,423,710 株
------------	-------------	------------	-------------

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、決算短信〔添付資料〕2ページをご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間における国内経済は、新型コロナウイルス感染症の拡大が長期化し、内外経済活動や社会活動の縮小や停滞により、急速に悪化致しました。拡大防止に向けた取り組みが続く中で、制限の緩和などから、個人消費や生産の一部に持ち直しの動きが見られるものの、感染症の再拡大や自然災害などが続き、先行きは依然として不透明な状況が続いています。当社の主要な市場であります建設関連業界におきましては、建設工事の一部停止や設備投資が慎重なものとなるなど、受注環境が低位な状況となりました。また、材料価格をはじめとするコスト環境は、やや低下しましたが、労働環境への影響など、取り巻く市場全体の事業環境は厳しい状況にあります。その結果、売上高は、30億86百万円（前年同期比10.5%減）となりました。製品分類別における状況は次のとおりであります。

鉄鋼器材は、外構、街路関連工事が低位であったことから、外構・街路関連製品が減少し、建築工事関連も低調な状況が続きましたことから、雨水排水・防水関連製品が減少し、8億39百万円（同9.6%減）となりました。

スチール機材は、設備、土木工事関連の納入が低位な状況が続いている中で、外構・街路関連製品などが減少していることから、5億31百万円（同5.0%減）となりました。

製作金物は、工事の進捗により防災関連製品の納入が進み、増加しましたが、建築工事は低調な状況が続き、建築金物が減少し、外構、街路等景観整備工事も低調な状況から、外構・街路関連製品が減少したことが影響し、15億53百万円（同9.1%減）となりました。

その他は、公共投資が低位な状況が続き、土木需要が低下しており、建機、機械向け製品も納入先の生産調整から需要回復には至らず、減少傾向が続いていることが影響し、1億62百万円（同35.5%減）となりました。

利益につきましては、市場環境の停滞とともに需要が低下し、再び感染症が拡大するなど厳しい状況となりました。売上や生産も低位なものとなり、材料価格などやや低下しましたが、引き続き不安定な状況にあります。その結果、売上総利益は、10億81百万円（同6.7%減）となりました。販売費及び一般管理費につきましては、一部の費用負担の増加はありますが、全般的に支出が低下しました。その結果、営業利益は73百万円（同9.7%減）となりました。営業外損益につきましては、更に低金利の環境が進む状況となり、収益の低い状況が続きました。その結果、経常利益は56百万円（同9.1%減）となり、四半期純利益は31百万円（同14.1%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期会計期間の財政状態は、総資産は前事業年度末に比べ2億53百万円減少し156億66百万円となりました。

流動資産は、前事業年度末に比べ1億88百万円減少し120億3百万円となりました。その主な要因は、製品が99百万円、現金及び預金が81百万円それぞれ増加しましたが、受取手形及び売掛金が3億47百万円減少したこと等によるものであります。

固定資産は、前事業年度末に比べ65百万円減少し36億62百万円となりました。その主な要因は、有形固定資産の機械及び装置が66百万円減少したこと等によるものであります。

負債は、前事業年度末に比べ1億78百万円減少し19億59百万円となりました。その主な要因は、流動負債の未払法人税等が1億29百万円減少したこと等によるものであります。

純資産は、前事業年度末に比べ75百万円減少し137億7百万円となりました。その主な要因は、四半期純利益の計上が31百万円ありましたが、剰余金の配当が1億6百万円あったこと等によるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後の見通しにつきましては、新型コロナウイルス感染症の防止策が長期間にわたり実施される状況の中で、経済活動も段階的に進められている状況にありますが、依然として新規感染の収束する時期が見通せない状況にあります。引き続き経済や社会情勢、また、金融資本市場の変動など多方面にわたり影響が及んでいることから、不安定な状況が続くことが予想されます。建設関連業界におきましても、新規の建設着工や公共事業投資、民間設備投資などへの影響は続くことが見込まれ、受注環境は引き続き厳しいものと予想されます。需要回復の時期など予測が困難な状況にありますことから、引き続き、顧客ニーズに沿った新製品の開発や受注の確保、生産効率の向上、及び経費節減等に取り組み、経営環境の変化に対応できるよう努めてまいります。また、防疫対策を整え、収益の確保、改善ができるよう取り組んでまいります。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2020年3月31日)	当第2四半期会計期間 (2020年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,289,824	8,370,893
受取手形及び売掛金	1,305,377	957,958
電子記録債権	208,630	161,282
有価証券	1,300,000	1,300,000
製品	531,375	630,466
仕掛品	118,043	140,163
原材料及び貯蔵品	433,962	433,367
その他	17,240	18,802
貸倒引当金	△12,451	△9,212
流動資産合計	12,192,004	12,003,722
固定資産		
有形固定資産		
土地	1,732,878	1,732,878
その他(純額)	1,573,059	1,510,988
有形固定資産合計	3,305,938	3,243,867
無形固定資産	40,629	40,632
投資その他の資産		
投資有価証券	61,060	61,448
その他	332,306	328,964
貸倒引当金	△12,000	△12,000
投資その他の資産合計	381,367	378,413
固定資産合計	3,727,934	3,662,913
資産合計	15,919,938	15,666,635
負債の部		
流動負債		
買掛金	310,107	245,948
未払法人税等	169,396	39,781
賞与引当金	58,308	64,850
その他	246,753	235,512
流動負債合計	784,566	586,091
固定負債		
退職給付引当金	296,945	302,306
役員退職慰労引当金	479,223	490,003
その他	576,735	581,066
固定負債合計	1,352,905	1,373,376
負債合計	2,137,471	1,959,468

(単位：千円)

	前事業年度 (2020年3月31日)	当第2四半期会計期間 (2020年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,820,000	1,820,000
資本剰余金	1,320,000	1,320,000
利益剰余金	10,702,778	10,627,156
自己株式	△69,828	△69,828
株主資本合計	13,772,950	13,697,327
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	9,516	9,839
評価・換算差額等合計	9,516	9,839
純資産合計	13,782,467	13,707,166
負債純資産合計	15,919,938	15,666,635

(2) 四半期損益計算書

第2四半期累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
売上高	3,447,970	3,086,605
売上原価	2,289,143	2,005,488
売上総利益	1,158,826	1,081,116
販売費及び一般管理費	1,077,088	1,007,308
営業利益	81,738	73,807
営業外収益		
受取利息	860	738
受取配当金	1,540	1,453
不動産賃貸料	9,359	9,439
その他	1,762	1,131
営業外収益合計	13,522	12,762
営業外費用		
支払利息	5,618	5,696
売上割引	25,073	22,097
その他	2,051	1,924
営業外費用合計	32,743	29,719
経常利益	62,517	56,851
税引前四半期純利益	62,517	56,851
法人税、住民税及び事業税	23,915	25,975
法人税等調整額	2,352	△279
法人税等合計	26,267	25,695
四半期純利益	36,250	31,155

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

1. 業 績

科目	金額	前期比
売上高	30億86百万円	10.5%減
営業利益	73百万円	9.7%減
経常利益	56百万円	9.1%減
四半期純利益	31百万円	14.1%減
1株当たり四半期純利益	21円88銭	(前年同四半期 25円46銭)

製品分類別売上高の状況

製品分類	売上高(百万円)	構成比(%)	前期比(%)
鋳鉄器材	839	27.2	△9.6
スチール機材	531	17.2	△5.0
製作金物	1,553	50.3	△9.1
その他	162	5.3	△35.5
合計	3,086	100.0	△10.5

2. 配 当

中間配当は、1株当たり75円を実施する予定であります。

3. 財政状態

総資産156億66百万円、純資産137億7百万円、自己資本比率87.5%、1株当たり純資産額9,627円78銭であります。

4. 通期(2021年3月期)の業績予想

区分	第2四半期累計期間(実績)		通期(予想)	
	金額(百万円)	前期比(%)	金額(百万円)	前期比(%)
売上高	3,086	△10.5	6,750	△11.4
営業利益	73	△9.7	360	△36.8
経常利益	56	△9.1	320	△39.2
四半期(当期)純利益	31	△14.1	210	△40.7

製品分類別売上高の計画(通期)

製品分類	売上高(百万円)	構成比(%)	前期比(%)
鋳鉄器材	1,730	25.6	△11.2
スチール機材	1,120	16.6	△10.0
製作金物	3,500	51.9	△11.6
その他	400	5.9	△13.8
合計	6,750	100.0	△11.4

5. 設備投資及び減価償却費(有形固定資産)

	第2四半期実績	通期計画
設備投資額	81百万円 (鋳造関連設備等)	4億円 (機械加工設備、金型等)
減価償却費	1億48百万円	3億10百万円